

国立大学法人京都大学の中期目標（又は中期計画）新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>【5】</p> <p>各学部・研究科等において外部評価委員会等を通じ、社会の多様なステークホルダーからの意見をj得て、社会が求める人材の変化を踏まえて検討した上で、その成果や各学問分野の発展状況を教育プログラム並びに組織改編・整備に反映させる。併せて、経営協議会における議論を踏まえ、戦略調整会議や企画委員会において社会のニーズや学問分野の発展状況と本学の教育研究組織のあり方の整合性に関する検討を行い、各学部・研究科等と連携して各課程における需要と供給のマッチングを意識した組織改編・整備を推進する。④</p>	<p>【5】</p> <p>各学部・研究科等において外部評価委員会等を通じ、社会の多様なステークホルダーからの意見をj得て、社会が求める人材の変化を踏まえて検討した上で、その成果や各学問分野の発展状況を教育プログラム並びに組織改編・整備に反映させる。併せて、経営協議会における議論を踏まえ、戦略調整会議や企画委員会において社会のニーズや学問分野の発展状況と本学の教育研究組織のあり方の整合性に関する検討を行い、各学部・研究科等と連携して各課程における需要と供給のマッチングを意識した組織改編・整備を推進する。</p> <p><u>特に、デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材にかかる社会ニーズを踏まえ、「大学・高専機能強化支援事業」の仕組みを活用し、令和8年度に工学部電気電子工学科・情報学科の入学定員を合計20名増員するとともに、第5期中期目標期間終了時まで同規模の定員減を行うため、その具体的な計画を第5期中期目標期間が開始する際までに決定する。④</u></p>	<p>○「大学・高専機能強化支援事業」に選定され、大学全体の収容定員の増加を伴う学部定員の増員を行うため</p>

<p>○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬山の家¹の土地及び建物（長野県北安曇郡小谷村大字千国字柳久保乙869番2）を譲渡する。 ・桂職員宿舎の土地（京都市西京区下津林六反田1番地3 3,815.98㎡）を譲渡する。 ・宇治職員宿舎の土地の一部（宇治市五ヶ庄瓦塚46番1 219.49㎡）を譲渡する。 ・国際交流会館みささぎ分館の建物（京都市山科区御陵池堤町28）を譲渡する。 ・栽培植物起原学研究室の土地の一部（向日市物集女町中条1番、24番 239.55㎡）を譲渡する。 	<p>○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>1. 重要な財産を譲渡する計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬山の家¹の土地及び建物（長野県北安曇郡小谷村大字千国字柳久保乙869番2）を譲渡する。 ・桂職員宿舎の土地（京都市西京区下津林六反田1番地3 3,815.98㎡）を譲渡する。 ・宇治職員宿舎の土地の一部（宇治市五ヶ庄瓦塚46番1 219.49㎡）を譲渡する。 ・国際交流会館みささぎ分館の建物（京都市山科区御陵池堤町28）を譲渡する。 ・栽培植物起原学研究室の土地の一部（向日市物集女町中条1番、24番 239.55㎡）を譲渡する。 ・生態学研究センター 船舶1隻「汽船 はす」（<u>滋賀県大津市下阪本、総トン数8.5トン、定員20名、最大航行速度20ノット</u>）を譲渡する。 	<p>○ 船「汽船 はす」は1998年3月に建造され、京大生態学研究センターにおいて主に琵琶湖での湖沼研究に使用されてきたが、老朽化に伴い、後継船となる「湖沼先端研究船」を購入することとなり、解体処分よりも経済的負担が少ない売却による譲渡を行うこととしたため</p>																																
<p>別表1 学部、研究科等及び収容定員</p> <table border="0"> <tr> <td colspan="2">学部</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td style="text-align: right;"><u>1, 096人</u></td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td style="text-align: right;"><u>3, 820人</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数)</td> <td style="text-align: right;"><u>11, 670人</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">研究科等</td> </tr> <tr> <td>工学研究科</td> <td style="text-align: right;"><u>1, 967人</u></td> </tr> </table>	学部		医学部	<u>1, 096人</u>	工学部	<u>3, 820人</u>			(収容定員の総数)	<u>11, 670人</u>			研究科等		工学研究科	<u>1, 967人</u>	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">学部</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td style="text-align: right;"><u>1, 093人</u></td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td style="text-align: right;"><u>3, 860人 (R8定員増)</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td>(収容定員の総数)</td> <td style="text-align: right;"><u>11, 707人</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2">研究科等</td> </tr> <tr> <td>工学研究科</td> <td style="text-align: right;"><u>2, 011人 (R8定員増)</u></td> </tr> </table>	学部		医学部	<u>1, 093人</u>	工学部	<u>3, 860人 (R8定員増)</u>			(収容定員の総数)	<u>11, 707人</u>			研究科等		工学研究科	<u>2, 011人 (R8定員増)</u>	<p>○ 医学部医学科における臨時入学定員増、工学部における「大学・高専機能強化支援事業」を活用した入学定員増及び工学研究科修士課程・博士後期課程における入学定員増に伴う学生収容定員の変更</p>
学部																																		
医学部	<u>1, 096人</u>																																	
工学部	<u>3, 820人</u>																																	
(収容定員の総数)	<u>11, 670人</u>																																	
研究科等																																		
工学研究科	<u>1, 967人</u>																																	
学部																																		
医学部	<u>1, 093人</u>																																	
工学部	<u>3, 860人 (R8定員増)</u>																																	
(収容定員の総数)	<u>11, 707人</u>																																	
研究科等																																		
工学研究科	<u>2, 011人 (R8定員増)</u>																																	

<p>(収容定員の総数)</p> <p>修士課程・博士前期課程 <u>4,706人</u></p> <p>博士後期課程 <u>2,622人</u></p>	<p>(収容定員の総数)</p> <p>修士課程・博士前期課程 <u>4,746人</u></p> <p>博士後期課程 <u>2,626人</u></p>	
<p>別表2 国際共同利用・共同研究拠点、共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点</p> <p>教育関係共同利用拠点</p> <p>近未来の“農”を展望する『<u>食とエネルギーを創るグリーンエネルギーファーム</u>』教育拠点（大学院農学研究科附属農場）<<u>令和7年度末まで</u>></p> <p>黒潮海域における海洋生物の自然史科学に関するフィールド教育共同利用拠点（フィールド科学教育研究センター海域ステーション瀬戸臨海実験所）<<u>令和7年度末まで</u>></p> <p>日本海における水産学・水圏環境学フィールド教育拠点（フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所）<<u>令和7年度末まで</u>></p>	<p>資源循環型の“農”を展望する『<u>グリーンエネルギーファーム</u>』教育拠点（大学院農学研究科附属農場）<<u>令和12年度末まで</u>></p> <p>黒潮海域における海洋生物の自然史科学に関するフィールド教育共同利用拠点（フィールド科学教育研究センター海域ステーション瀬戸臨海実験所）<<u>令和12年度末まで</u>></p> <p>日本海における水産学・水圏環境学フィールド教育拠点（フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所）<<u>令和12年度末まで</u>></p>	<p>○令和7年度に行った継続申請により、教育関係共同利用拠点としての認定期間が更新され、併せて拠点名が変更となったため</p> <p>○令和7年度に行った継続申請により、教育関係共同利用拠点としての認定期間が更新されたため</p> <p>○令和7年度に行った継続申請により、教育関係共同利用拠点としての認定期間が更新されたため</p>